



「経団連労使フォーラム」が開催され、21春闘が本格的にスタートする中

コロナ禍の生活様式において、今の賃金で大丈夫??

2020年から続く新型コロナウイルス感染症は猛威を奮い、終息の兆しは見えない状況です。

経団連は「業績が好調な企業はベースアップも選択肢」「収益が大幅に悪化した企業は事業継続と雇用維持を最優先」と方向性を打ち出しています。しかし、コロナ禍における「新しい生活様式」では「在宅勤務・テレワーク」や「リモート学習」などが行われ、これまで必ずしも必要とされてこなかった「ネット環境」や「通信費」、**在宅時間の増加に伴う水道光熱費の増加**などが発生しています。

21春闘では「雇用維持」も重要な焦点になりますが、これからの生活様式に合った賃金や感染症が蔓延するなかでも業務を行う、エッセンシャルワーカーに相応しい賃金を求める「**根拠**」を皆さんで話し合っていきましょう。



生活設計の見直しをしないと、今の賃金で生活水準は維持できない!!

JR東日本会社は21年3月期中間予想について、4180億円の赤字を見込んでいますと発表しています。コストカットや事業比率を「5:5」に変えるなど打ち出す一方、固定費の増大に繋がる中央線12両化に向けた投資などは予定通り行っています。

私たちは公共交通機関としての使命を果たすために、感染リスクの不安と隣合わせで「安全・安定輸送」の提供に努めてきました。今、行うべきことは「人への投資」であると考えます。この**コロナ禍における不安を出し合いながら、21春闘勝利に向けた要求根拠を創り出そう!!**

労働者として当たり前要求と根拠を出し合い、エッセンシャルワーカーの使命を議論しよう!!